

# “輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>



ひぐみっ子との出会いに感謝！

## 息遣いを感じる出会いに感謝!!

校長 丹羽正昇

3月19日(火)、第49回卒業証書授与式が行われました。卒業生へのはなむけとして「息遣いを感じる出会い」について話しました。今号では、式辞の一部を、学校だよりの文章としてアレンジしたものを記載します。

「息遣いを感じる出会い」とは何か。これは私が創った言葉ですので、少々説明が必要です。「息遣いを感じる」とは、お互いに呼吸しているのが分かるほど近くにいる様子を表します。その上で、子どもを子ども扱いせず、一人の人間として尊重し、常に温かく接するけれど、時には厳しいことを言ってくれる、そんなすてきな人との出会いを指します。

6年1組は地域のレストランとコラボした学習をしました。小学生が考えたお弁当やお惣菜であっても、それらをお店の商品として採用できないかもしれない。そんなことを言われたことがありました。2組のひぐみ版「とつかるた」づくりにおいては、子どもが思う戸塚、小学生の考える戸塚のよさをいっぱい出しました。しかし、そこに対する大人たちの評価は、決して甘いものではありませんでした。みんなで一生懸命考えた、私なりに頑張ったということは、もちろん大事にされるべきです。そうであっても、誰もが真剣に生きているこの社会の中では、学校における学びが、ときに通用しないことがあるのです。卒業生が出会った大人たちはいつでも本気だったはず。その本気に応えるには、こちらも本気でぶつかっていかなければならない。その人が本気かどうかというのは、「私は本気です!」という言葉ではなく、本気が伝わる行動や姿勢、態度で判断されます。レストランで働いていらっしゃる方々は、レストランを運営することで生活されています。そこで大切にされているのは信用です。だから、いい加減な商品売ることはできません。お客様に対して、小学生が頑張った商品ですから、大目に見てくださいなどは、決して言えないのです。「とつかるた」に読まれているお店や場所でも同じことが言えます。かるたに生まれるのは嬉しいが、そのような言葉で表現される店や場所ではありません。そう言われてしまっは、たとえよかれと思ってつくったかるたであっても、思いはまったく伝わらないのです。

それでも卒業生は、多くの方の本気の思いを真正面から受け、見事にお弁当やかるたを生み出しました。真剣に生きている多くの人たちの心を動かすことに成功したのです。この、人の心を動かすということが大切です。「息遣いを感じる出会い」。これの本当の価値は、人の心を動かし、自分の目標が多くの人を幸せにするということにあります。レストランとコラボしてお弁当作りをしてみたい。戸塚区のかるたを自分たちでもつくってみんなで遊びたい。はじめはそんな素朴な目標だったかもしれませんが、それが、多くのすてきな人と出会い、その人たちの本気に圧倒され、自分でも本気になっていくうちに、いつしか変化していきました。自分の目標が、お店の人や地域の人と目標と重なり、さらには多くの人の幸せにつながっていったのです。1組が考えたお弁当を買い求める人たちの行列。今か今かと待っているその顔は、楽しみでしかたがないといった幸せの表情でいっぱいでした。2組が開催したかるた大会には、かるたづくりに協力して下さった皆様を招待しました。子どもも大人も、とにかく笑顔あふれる会になり、体育館が幸せいっぱいの空間と化しました。

「息遣いを感じる人との出会い」。今後、技術が発展・進歩し、たとえば生成AIのような人の代わりに務めるものが世の中にあふれ返り、生成AIが人間の力になったとしても、「息遣いを感じる人との出会い」によって得られた、人の本気に触れる学び、自分の目標が多くの人を幸せにするという経験に勝ることはないのです。

式辞を真剣に聞いていた卒業生同様、私にも多くの「息遣いを感じる出会い」がありました。皆様には、本当にお世話になりました。表す言葉が見つからないほどの感謝ではありますが、それでも言わずにはられません。

皆様ありがとうございました。来年度も、ひぐみ、ひぐみっ子、ひぐみの教職員をよろしく願いいたします。